

しいのみ園保護者会だより

第 9 号

平成30年1月1日発行

社会福祉法人 心友会

しいのみ園保護者会

千葉市緑区高田町 1953-1

TEL 043-291-2941

会長 大松 初男

しいのみ

しいのみ園より

新年のご挨拶を申しあげます

謹賀新年

笑顔・感謝・貢献

社会福祉法人 心友会

副施設長 高見 正



昨年はいろいろとお世話になり
ありがとうございました
本年もよろしく願いいたします
平成三十年 元旦

あけまして
おめでとう
ございます

本年も利用者様が楽しく生き生きと
過ごせるように努めて参ります
入所一寮職員一同

平成三十年 元旦



謹賀新年

明るく 楽しく 元気よく

充実した生活が送れるように努めて参ります
入所2寮職員一同

平成30年 元旦



あけましておめでとうございます。

平成三十年、戌年が明けました。今年はいしいのみ園開設十五周年を迎えます。保護者会も益々元気で頑張つて参りたいと思います。生活班よりの年賀状をお届けします。

あけましておめでとう
ございます

笑顔を絶やさず、毎日皆様と
楽しみある生活を
送れるように努めて参ります。
ほんだあゆみ寮一同

平成三十年 元旦



理事長 新春の夢を語る

社会福祉法人心友会 理事長 武田 昇



しいのみ園保護者会
理事長 武田昇
だより6号
で「進む！
しいのみ園
心友会理事長

かった武田理事長、どうしてこの世界に入ったのでしょうか。

●大学時代、就職も、機械工学そして製造業関係で、更に不動産ビル事業も手がけていましたので、福祉とは全くの異業種に携わっていました。ただ、仕事柄日本と東南アジアの行き来が多かった経緯の中で、貧しい国々で出会った子どもたちに心動かされ、何かできないかと常に考えていたのは事実です。しかし、できることといえば、禁煙をして貯めたたばこ貯金をもとに物品を寄付したり、施設を慰問したりするにとぐらいでした。

昭和六十年代、親の認知症発症により介護が必要となりました。そして姪が知的障がい児で、入所できる施設を探すと、日本の「上から目線」の対応や、閉鎖的な施設に対して、非常に幻滅したという経験をしたのです。私財を投げ打って、高齢者や障がい児者が社会で人間らしく安心して共生できる施設、つまり

利用者や家族に心から喜んでもらえる施設を作りたいと思うようになりました。韓国で出会った大学の先生や福祉関係の知人の助けもあり、私自身を支えてくれた仲間たちと力を合わせて、施設を建設できることになり、更には外国からの優秀な人材確保も可能となりました。とにかく勉強しました。福祉施設士会に入会して研修も数多く受けました。富を自分のためではなく、喜んでもらえる人のために使いたいという思いと熱意は、人に負けないほどありました。こういった諸々の経験と、結果的に福祉の世界に入ったきっかけとなりました。

理事長の夢



◆しいのみ園の誕生の裏には、理事長の人としての生き様や人的物的環境等々いろいろな要素が絡み合っていたのです。では続いて理事長の夢を伺いたいと思います。

●福祉において世界が一つの国になること。狭い日本で井の中の蛙になっっているのではなく、例えば日本がいわば一つの県で世界が一つの

国というようなイメージです。あまりにも大き過ぎて何を言っているのかと思われるかもしれませんが、気持ちは本気です。

将来各都道府県で、「利用者あつての私たち」という気持ちで施設を立ち上げられる人材を、ここしいのみ園で今現在育てています。特に千葉県は、なんとなく「上から目線」の施設が多いと感じています。一つには平成十五年までの措置制度がよくなかったのだと自分は考えています。「誰のため」「何のため」と常に初心に戻って仕事をする必要があるのに、少し長くこの世界にいと、すぐに何でもできるとおごった考え方に陥る。自分は「初心忘るべからず」という言葉が好きで、常に自身に言い聞かせています。

施設作りは、最初は温かい地域でと考えましたが、ここ緑区は、高齢者施設が多いので、グループホームを作ったときは、そうだ、菅田を福祉村にして、親と子が幸せに行き来できるようなことができないかなというような考えも持つようになりました。家にながら必要な相手に必要な形でケアできるという姿は理想であると思うのです。国はお金がないという前提

いざ、福祉の世界へ！

◆以前のインタビューでもお話しされていましたが、そもそも福祉畑でな

(聞き手 長安貴子・恒川禎子)

武田理事長自身の夢、そしてその夢の具現化のための手だて、職員の雇用や保護者会への期待など、ざっくりばらにお聞きしてみました。



から発信した
福祉村が境界
線をなくしな
がら広がっ
て、県外、日
本全国、世界
につながって
いくことを自
分は夢見てい
ます。

で考えるので、当事者の幸せや楽しみを前提にする考え方と、食い違いが起こるのだと思います。利用者なりの主義主張があることを受け止めて、福祉を考えていきたいのです。

私は工場で品質管理の仕事もしていたので、福祉の世界でも「質を上げるべき」という観点で施設長の集まりなどで話したことがあります。笑われました。やはり旧態依然なのか、切磋琢磨ではなく、悪い意味で手をつないでしまう資質が根強く残っている気がします。

質の高い職員の育成を！

◆大きな夢を語って頂き、しかもそれが常に利用者あつてのという視点点がうれしい限りですね。しかし、この世界、箱物だけでは成り立ちません。スタッフの確保に関してはどのようにお考えなのでしょう。

●その通りです。施設をやたら作ればいいとは思っていません。質の高い職員の確保、あるいは職員を育てていくということは何よりも大事なことであると考えています。そのためにも、資格がありさえすればいいわけではないですが、資格を持つことは大事であると考えているので、まずは職員全てが有資格者であることを目指しています。資格手当も出しています。手当はある意味モチベーションにもなります。

また、利用者さんに対しての関わり方の質を上げるために、福祉Q Cに取り組み早二年です。職員が講座を受け個別指導を受け、取り組みを発表していく中で、今まで以上に目標をしつかりと持ちながら日々利用者さんに向き合うようになって

きて、成果があらわれています。

そして、熱意があり努力できる人を雇うために、福祉関係の大学にこちらから出向いて、優秀な大学卒業生を確保していくつもりです。また、引き続きEPA(経済連携協定)のもと、国を超えての障がい者福祉の交流が良い相乗効果を果たしている実績を生かし、今後も外国からの優秀な人材は雇用していくつもりです。

職員は二年三年経つと大体仕事を理解してきます。慣れてくると陥る悪い部分も出てくるので、常に「利用者あつての私たち。感謝を持つて接する」ということを職員全員で毎日確認し合っています。

保護者会に期待すること

◆優秀なスタッフ獲得、育成の為に、具体的な方策を話していただきました。利用者も職員の方も家族もみんなが笑顔になれるしいのみ園であって欲しいものです。さて、保護者会もしいのみ園をバックアップしている力強い存在でありたい



と思っています。理事長から何かあれば聞かせて下さい。

●保護者会全体に、というより、保護者の方になんかということになってしまいましたが、ぜひ職員と保護者がつながって欲しい。保護者の方が出られる行事をもっと考えていかなってはいけないのでしようが、言いにくいことでも言って欲しいと考えています。話す機会をぜひ作って職員と保護者の信頼関係をもっと強めたいのです。ぜひ声を聞かせて下さい。

ふくろうは知恵袋



◆ところでこの部屋にもふくろうの絵がかかっています。よほど武田理事長はふくろうが好きで・・・。

●ふくろうは知恵袋という意味があります。今年亡くなられたしいのみ園の理事をしてくださいました同朋大の社会福祉の教授が長野に『親愛の里』という施設を立ち上げており、それを参考にするように言ってくれたのですが、彼もふくろうが好きだったんです。ただ、「君のはみみずくじゃないか」と言われ大笑いしましたけどね。



インタビューを終えて理事長と
向って(左)恒川理事、(右)長安理事

とにかく利用者も職員も保護者もみんなが楽しんで生きていけるといいなと思っています。みんなで海外の旅行というのも考えているところです。海外でなくてもいいのですが。お陰様でこのところ職員も定着し離職者がいません。ここで働くことが楽しい、ここでの生活が楽しい、ここに預けて安心、という施設を目指していきます。

◆お忙しい中ありがとうございました。
この紙面では足りないほどの話をたくさん聞かせてくださいました。座談会などまた形を変えて、理事長と話す機会を皆さんと持てばいいなと思っています。本日は本当にありがとうございました。



笑顔を絶やさず、
毎日皆様と楽しみある生活を
送れるように努めて参ります。
平成30年 元旦 ぽんだつばさ寮一同



笑顔を絶やさず、毎日皆様と
楽しみある生活を
送れるように努めて参ります。
平成30年 元旦 ぽんだのぞみ寮一同



笑顔を絶やさず、毎日皆様と
楽しみある生活を
送れるように努めて参ります。
平成30年 元旦 ぽんだひかり寮一同



笑顔を絶やさず、
毎日皆様と楽しみある生活を
送れるように努めて参ります。
平成30年 元旦 ぽんださくら寮一同